

和顔愛語-2学年だより-

第9号

町田市立真光寺中学校

(令和7年10月18日発行)

合唱祭特集 第2弾 ♪♪

いよいよ週明けには、合唱祭本番になります。今日までにどちらのクラスもリーダー達が熱量をもってクラスを支えてくれています。あとは本番を残すのみとなりますが、ここで各クラスの自由曲について、歌詞や歌詞の中身について書いてみました。歌うこと以外(頭や心で考えること)で、最後の表現力のプラスアルファになってくれると幸いです。どちらのクラスもよいハーモニーだからこそ、曲のメッセージを自分なりに解釈して聴いてくれる人に届けることにチャレンジしてほしいと思います。

COSMOS(Ⅰ組自由曲)

Ⅰ組の自由曲は、ミマスさん作詞/作曲の『COSMOS』です。ミマスさんは、アクアマリンというバンドで出した曲を富澤裕さんが合唱曲に編曲したそうです。

『COSMOS』 ミマス 作詞/作曲 / 富澤 裕 編曲

夏の草原に 銀河は高く歌う 胸に手をあてて 風を感じる
君の温もりは 宇宙が燃えていた 遠い時代のなごり 君は宇宙
百億年の歴史が 今も身体に流れてる

光の声が天高くきこえる 君も星だよ みんなみんな

時の流れに 生まれたものなら ひとに残らず 幸せになれるはず
みんな生命を燃やすんだ 星のように 蛍のように

光の声が天高くきこえる 僕らがひとつ みんなみんな

光の声が天高くきこえる 君も星だよ みんなみんな

コスモスは、ギリシャ語で“宇宙”を指す言葉だそうです。「宇宙を秩序ある調和の取れたシステム」とみなし宇宙をコスモスと呼んだそうです。コスメの語源でもあるように“美”という意味あるようです。

作者は『君も星だよ』というフレーズに、色々な想いを込めたようです。太陽でも小さな星でも自ら光を放っているということ。そして、いつか光り輝く時期には寿命があること。そして、寿命が来ると宇宙にガスが放出され新たな星を長い時間をかけて作っていく。人間も星と同じ元素から生まれてくるというメッセージを込めているそうです。

身近な場所も私たち人間も宇宙の歴史の一部が流れている。そんな壮大なテーマがある曲だと思います。自分と宇宙との繋がりを考えてみて歌ってみてほしいと思います。

地球星歌（2組自由曲）

2組の自由曲は、同じくミマスさん作詞／作曲の『地球星歌』です。1組と同じくアクアマリンの曲として出されたものを編曲したものです。

『地球星歌』ミマス 作詞／作曲 / 富澤 裕 編曲

この青空はきっと続いている
遠い街で誰かが 見上げる星空に
あなたの夢はきっと続いている 遠い国の野原で 輝く虹に

* あなたの毎日が世界を創り 愛する想いが 地球へと広がる
私は祈る 明日のために まだ見ぬ あなたの笑顔のために

あなたがひとり 見上げる月を 遠い海のクジラが 見つめ返している
もしも夜空に 鏡があれば 地球のみんなの 顔が見えるだろう

* くりかえし

この小さな手でできること 見えない糸をたどって すべてを感じることに

そう！ 誰にでも愛する人がいる 誰の心にも 大切な場所がある
さあ！ その気持ちを無限に広げて この星をぜんぶ ふるさとと言おう

あなたの毎日が 世界を創り 愛する想いが 地球へと広がる
私は祈る 平和のために まだ見ぬ あなたの笑顔のために
いつの日か出会う その日のために

ミマスさんが世界一周旅行をした際に得た感動体験を基にして作り上げた曲のようです。序盤の歌詞「この青空は～」は、人同士が地球上でつながっているというメッセージなのだと思います。また、「そう！誰にでも愛する人がいる～ふるさとと言おう」がこの曲で一番伝えたいメッセージなのだと思います。そして、その愛する人や大切な場所が平和であるためには、「あなたの毎日」、自分の一日一日で創り出すのだというメッセージなのだと思います。

「あなた」と「まだ見ぬあなた」の愛する人や大切な場所のためにできることは何か、そんなことを考えてみるのもよいと思います。

*似たようなワードがありますが、少しテーマが違うそんな世界観も各クラスで表現できると歌うことがさらに楽しくなると思います。